第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：大久保 厚司／副会長：浅野 訓一／幹事：本田 実

2014～2015年度クラブスローガン

貴方の輝くロータリーライフを
Your rotary life to glisten

2014～2015年度 RIテーマ
ロータリーに輝きを

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率８１．８%: 会員数４５名・出席３４名・欠席８名・出席規定免除会員（３） ２名・ビジター２名
前々回の修正出席率１００%: 出席３５名・メークアップ７名・出席規定免除会員２名

会長挨拶／大久保 厚司君



米国の金利安定に日銀は実質金利引き下げをうたい、株高、円安が加速度的に進んでいますが、欧州の金利動向では更に変動が期待・危惧 ？ されており，実質、預金の目減りが気になるところですが、皆さんはどう思われますか？

来週は映画例会です。11月15日（土）は諫早文化会館で2740地区大会があります。地区を単位として、地区内外のロータリアンとその家族が年に一度、一堂に会する地区大会はロータリーに関する情報交換が行われる場であるとともに、親睦の場ともなります。近隣は勿論、遠いクラブ間とも「ロータリーを広げる」チャンスですので、出席を宜しくお願い致します。RI会長代行として台湾から来られる予定です。

講演者はそこまで言って委員会でおなじみの、本音で評論する竹田恒泰氏ですので、面白いと思います。16日（日）は名門の長崎国際ゴルフ倶楽部ですので、宜しければご参加ください。また、24日の月曜日は米山面接官のオリエンテーションです。以上、地区大会の出席のお願い申し上げます。

本日の卓話は牛島パスト会長にお願いしております。宜しくお願い致します 。

本日のビジター紹介

佐世保南ロータリークラブ　　太田　博道様
　　石塚伊知郎様

Report 幹事報告／本田 実君

1．例会変更
ありません。

2．来　　信
・ガバナー事務所
①ガバナーノミニー宣言
　崎永剛君（長崎北RC）
②クラブ情報提供のお願い（独自の奨学金運営に関して）
③「ジャパン・ロータリディⅡin 東京についての追加の連絡

committee 委員会報告

山瀧正久 職業奉仕委員長
来週11月13日（木）は社員招待映画例会となっております。ロータリーディとして開催します。社員、家族にロータリー活動を理解してもらう機会ですので、改めて周知頂きましてご参加をお願い致します。

八重野一洋 社会奉仕委員長
11月30日くっけん広場での社会奉仕事業ですが、A4サイズのチラシをお配りします。チャリティバザー商品のご提供よろしくお願い致します。キャッシュも大歓迎です！

四元清安 会員増強委員
本年度の会員増強は大変苦戦しております。何卒会員皆様のご協力をお願い致します。

(^_^) ニコニコボックス

佐世保南ロータリークラブ 太田博道様
お邪魔してます。宜しくお願いします。

佐世保南ロータリークラブ 石塚伊知郎様
佐世保南クラブの石塚です。現在、プログラム委員長を務めております。良き卓話者の情報がありましたら、田代委員長、よろしくお願いします。

大久保厚司会長、浅野訓一副会長、本田実幹事
今年もあと56日、一年はあっという間に過ぎていきますね。季節の変わり目、気温の上下が激しいので風邪、その他の病気には気を付けましょう。今日は牛島義亮パスト会長に卓話をお願いしております。よろしくお願いします。

四元清安君
本日は牛島パスト会長の卓話、楽しみにしています。目を見開いて聞かせて頂きます。よろしくお願いします。

週報制作：会報・出席委員会／川島 千鶴、坂井 智照、田雑 豪裕、南部 建、山口 裕之、香月 章彦、岡田 文俊

川島千鶴君

昨日は結婚記念日がない私に誕生日のお花が届きました！思いがけないプレゼントに驚きました。また、フェイスブックやメッセンジャーでも200人の方からのお祝いメールを頂いたり。母と会社の社員と波佐見温泉「湯治楼」に入り、いとこの寿司屋で食事会をしました♡ 一人だけど一人じゃないとっても幸せな誕生日でした。

岡田文俊君

100年の森佐世保から植樹祭のお願いです。来る12月14日話題のウエストテクノ佐世保にて佐世保市のご協力を得て植樹を行います。メールボックスにポスターと申込書を入れております。ご案内とできればご参加をお願いします。日本財団の補助事業です。

馬場貴博君

11月1日にはバースディケーキを2つも頂きました。又、昨日は福田先生に母親が大変お世話になりました。

本日の合計	10,000 円
本年度の累計	403,000 円

本日の卓話

■ 会 員 卓 話 ■
～ 映画の歴史 ～

牛島義亮君



私も映画屋ですので、『映画はいつ頃出来たのか』やアメリカ映画の名前はわかります。世界の映画を時代順に並べたとき、それぞれと同時期に日本の映画ではどのようなものがあったのか、また佐世保の映画館はいつ頃にどのような状況だったのかを、お話しさせていただきます。

映画とは 1893 年（明治 27 年）にエジソンが、自動映像販売機『キネトスコープ』を一般公開したのをきっかけに、映画元年といえる翌 1895 年（明治 28 年）に、リュミエール兄弟が、現在の映写機とほぼ同じ複合機を開発して、パリのカフェで有料の試写会を開催しました。

日本では、1904 年（明治 37 年）に初めて浅草電器館をはじめとする映画館が東京、大阪の大都市で一斉に出来たそうですから、映画館の歴史は、明治から始まったということです。佐世保では、明治 30 年に栄町に弥生座（浅井呉服店）の芝居小屋が建ち、後に映画館となりましたので、それが佐世保の映画館発祥なのかと思われます。1910 年(明治 43 年)には、佐世保で初めて映画上映がありました。日露戦争の凱旋の頃である明治末期から大正期にかけては、東京の陸軍観兵式の実写上映を行う等、軍の宣伝に使われていました。

1913 年(大正 2 年)には、本格的な無声映画時代となりました。チャップリンなどがその代表です。そのようなときに、島瀬町に朝日会館が誕生しました。日本では無声映画の上映時に噺家が座っているという、世界でも非常に珍しい状態でした。

1914 年（大正 3 年）に第一次世界大戦があり、アメリカやドイツでは、プロパガンダ作品が多く制作されました。そして第一次世界大戦が終結すると、ハリウッド映画会社が徐々に日本へ進出して来ました。佐世保では、1920 年（大正 9 年）東宝プラザの前身となる映画と芝居小屋を兼ねた『佐世保座』が誕生しました。そして 1925 年（大正 14 年）に佐世保では、山県町セントラルパーキングの処に安福さんおじいさんが『敷島館』を誕生させました。日本では、歌舞伎を本業としていた松竹が東宝系の『松竹キネマ合名社』を設立し、俳優養成所ではハリウッドの「スター・システム（主演俳優中心主義）」を採用し、多数の俳優を排出しました。

全盛期、佐世保では、その当時30館くらいの映画館があったのではないかと推測されます。千日劇場や中央館、俵町峠などにもありました。

1926 年（大正 15 年、昭和元年）に父が生まれました。この頃のアメリカ映画では、『戦艦ポチョムキン』があります。それ以降の映画の発達は凄まじいものがあります。1927 年（昭和 2 年)アメリカで世界初のトーキー映画が始まったのと同時期に、日本初のトーキー映画も始まり、1929 年（昭和 4 年）に『西部戦線異状なし』、1931 年（昭和 6 年）に『街の灯』『フランケンシュタイン』、1939 年（昭和 14 年）に『オズの魔法使い』などが作られました。1933 年（昭和 8 年）キングコングが白黒で上映されました。

この頃になると、黒澤明や井深大等、日本で「プロデューサーシステム」が採用されるようになりました。配給会社である『東宝映画配給』などは他社と合併し『東宝映画』となり、『日活』、『松竹』に続く大映画会社となりました。昭和の初めに映画が次々と制作され、太平洋戦争が始まるまで映画は大変普及していきます。

私が子どもの頃に一番感激した『嵐が丘』『風と共に去りぬ』『駅馬車』などが公開されたのは、1939 年（昭和14年）です。そして、1941 年（昭和16年）に太平洋戦争が勃発しましたが、1942 年（昭和17年）には、『カサブランカ』『君の瞳に乾杯』などが上映されました。そして終戦を迎え、駐留軍の管理で規制が引かれ、日本の映画界は崩壊状態となります。

しかし、朝鮮戦争の頃から日本の映画界は、黄金時代を迎えて行きます。

私が生まれた 1952 年（昭和 27 年）には、『雨に唄えば』『シェーン』などがあります。その前年には、黒澤明監督の『羅生門』がヴェネチア映画祭で金獅子賞を受賞します。今でも記憶に残っているというのは、その当時から黒澤監督は偉大だったのですね。

1955 年（昭和 30 年）に私の祖父が『スバル座』を完成しました。朝鮮戦争後でもあり駐留軍の米兵相手のダンスホールが大変賑わってました。ダンスホールでは、女性を米兵相手の女中や女給として住み込みで 100 人程雇っていました。『カズバ』もそうですね。川崎君所の『相生市場』もそうです。しかし儲けは長続きせず、「何をやるか」となり、天井が高く 3 階建てのダンスホールを改造して始めたのが、映画館でした。『スバル座』は55円洋画として出来ました。その頃安福さんが経営していた『中央館』など沢山の映画館があり、封切映画

は上映出来ませんでしたので、3本映画をやってました。

赤ちゃんの頃からダンスホールで音楽を聴き、子どもの頃は映画音楽を聴き育ちました。中学校時代、『戦場に架ける橋』(1957年)、『ベンハー』(1959年)、『ウエスト・サイド物語』(1961年)など、凄い映画が作られた映画の全盛期でした。1967年(昭和42年)ころ、70mm映画といって通常35mmの映画を倍にして映していました。これを行っていたのは、『長崎新世界』とうちの『太陽』と『カズバ』だけでした。

『カズバ』は、約700～800人くらいの収容が出来て、九州一を誇ってました。1965年(昭和40年)、山縣さんから『佐世保松竹』の建物を買って『洋画劇場太陽』をオープンしました。その頃、今でも有名な『卒業』(1967年)が上映されました。

1969年(昭和44年)、この頃から皆さんご存知の『真夜中のカウボーイ』(1969年)『ワイルドバンチ』『イージーライダー』『明日に向かって撃て』(1969年)が上映されました。ピーター・フォンダとかチョッパーとかに憧れていました。同時期に、渥美清の『男はつらいよ』シリーズが始まり、全48作はギネスブック国際版に掲載されています。

1972～1973年(昭和47～48年)のアメリカでは、『ポセイドン・アドベンチャー』『ゴッドファーザー』『アメリカン・グラフィティ』等、ハリウッドで大作ブームが巻き起こります。そして皆さんの記憶にもあると思いますが、『エクソシスト』がありました。映画館で観られましたか？『エクソシスト』は、『スバル座』と『太陽』で上映したのですが、『RICもりやま』とか『太陽』の周りを2周回るくらい人が並んでました。うちの専務はスピーカー持って、非常階段を使って場内入れ替えをしていました。その頃から映画が入るようになった。

『タワーリング・インフェルノ』(1974年)をナイト上映で観て出たら、もぎりのおじさんが「火事ですよ！」と言って来ました。燃えていたのは、『大映千日』『千日劇場』でした。

私たちは、『若大将シリーズ』(1961年～)や『眠り狂四郎』(1956年～)などを観て育ちました。中学校時代は、映画を観るのが禁止されていて、補導される頃でしたが、父親からは「映画館の息子が映画を観らんでどうするか！」と怒られていました。

1977年(昭和52年)、『未知との遭遇』やスティーヴン・スピルバーグ、ジョージ・ルーカスの『スターウォーズ』などSF作品が大ヒットし、この画期的な映画のおかげで、映画は進歩して行きました。

『ディア・ハンター』1978年(昭和53年)、『レイダース/失われたアーク』1981年(昭和56年)、そして1982年(昭和57年)に、映画史上記録的な興業であった『E.T.』がありました。それまで『ジョーズ』(1975年)が持っていた記録を塗り替えてしまいました。子どもとE.T.が、自転車で月に昇って行くシーンでは、お客様が拍手喝采するんです。映画とお客が一体となった映画でした。『ガズバ』と『太陽』とで上映されました。また客寄せの為に前売り券を売ったり、沖縄旅行をプレゼントなどの企画もやりました。

佐世保に縁が映画といえば、『ミンボーの女』(1992年)で、ハウステンボスでロケがありました。

1993年(平成5年)に『ジェラシックパーク』、そしてさらに画期的な映画が、2001年(平成13年)『ハリー・ポッター』が上映されました。日本興業最高記録である、304億円を樹立しました。

その前に日本で出来た映画で画期的な記録を作ったのが、スタジオジブリ。『もののけ姫』(1997年)や『千と千尋の神隠し』(2001年)でした。『ピカデリー』の支配人は、チケットもぎりで、腱鞘炎になったとおっしゃっていました。その『もののけ姫』と『千と千尋の神隠し』を五島でやって成績を上げたと聞いて、『ハリー・ポッター』を上五島石油備蓄センターで上映したら2,000名のお客様が入りました。その後、壱岐や対馬や五島に持って行っていましたが、『スターウォーズ』では入らず損をしたので辞めました。

1995年(平成7年)に岸和田に映画ホールが出来ました。1フロアーに7つも上映部屋があり、ショッピングモールも併設してあり、その頃アメリカでは出来ていてアメリカだから出来ると思っていたのですが、ついに日本に出来たのです。それが全国に拡がって行きました。

今は、日本に3,300スクリーン程がありますが、その当時は2,000程でした。アメリカのスクリーンは、どのくらいあると思いますか。アメリカでは、約33,000スクリーンあります。日本人は年に1回ぐらい観ますが、アメリカは4～5回観るそうです。映画産業は、アメリカの唯一の輸出産業であります。

日本映画は、日本語だから世界的に見ると受け入れてもらえず、アメリカ映画は、全世界で受け入れられ大作となります。このところようやく、日本も黒澤とかジブリなどの影響もありで、海外でも受け入れられるようになりました。

アメリカでは、すぐキャラクター商品を作るので、凄く大きい産業になります。日本からは、『ドラゴンボール』などのアニメでその分野を浸食しています。日本のアニメ文化は、世界に受け入れられています。

来週の職業奉仕で、『鯛の記』を観て頂きます。寝ないで観て下さいね。

2年程前に、佐世保ロータリークラブの60周年の事業で、宇久に映画3本とポップコーンを持って、朝長市長と一緒に行ったことが、本日お配りした資料を作るきっかけです。佐世保ロータリークラブは、テントを記念に寄贈されました。うちも次の周年行事を控えておりますので、映画会を行って頂ければありがたいです。

最後になりましたけれども、今はフイルムがなくなり、デジタル化されました。そのためDVD上映も可能となりました。今度、岩政君のお姉さんも還暦同窓会をされるそうで、『小さな恋のメロディー』(1971年)を上映することになりました。
皆様も何かございましたら、お声かけて下さい。

貴重なお時間に映画の宣伝をさせて頂きました。ご静聴ありがとうございました。

ＳＡＡ：崎山信幸君
次回例会／１１月１３日１８：３０～
次回例会／ロータリディ・社員招待映画例会